

岩手県国際交流協会 平成25年度 事業評価について

◆いわて県民計画第2期アクションプラン【H23年度(2011)～H26年度(2014)】(岩手県)

1 「目指す姿」

		H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26(2014)
外国文化紹介事業実施市町村数[累計]	目標値	/	22市町村	28市町村	33市町村
	実績値		22市町村	28市町村	
多文化共生サポーター登録者数 [累計] (日本語サポーター及び多言語サポーター)	目標値	335人	360人	420人	440人
	実績値	337人	406人	430人	

2 「具体的な推進方策」

		H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26(2014)
外国人相談件数	目標値	400件	450件	550件	600件
	実績値	446件	557件	572件	
外国人文化紹介事業実施回数	目標値	/	27件	30件	33件
	実績値		44件	43件	

◆県出資等法人に係る中期経営計画【H24年度((2012)～H26年度(2014)】(岩手県、岩手県国際交流協会)

		H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26(2014)
寄附金収入	目標値	/	10万円以上	10万円以上	10万円以上
	実績値		24万円	14万円	
賛助会員数	目標値	/	450人以上(団体含む)	490人以上(団体含む)	510人以上(団体含む)
	実績値		478人	496人	
事務経費の節減	目標値	/	5,971千円以下 (H22比減5%以上)	5,971千円以下 (H22比減5%以上)	5,971千円以下 (H22比減5%以上)
	実績値		4,379千円	3,977千円	
超過勤務手当の節減	目標値	/	1,729千円以下 (H22比減5%以上)	1,729千円以下 (H22比減5%以上)	1,729千円以下 (H22比減5%以上)
	実績値		1,331千円	1,438千円	

《参考》

平成25年度 事業概要

平成25年度事業について、4本柱に基づいて以下の通りに整理したもの。

1 多文化共生の地域づくり	成果、課題等
(1) 外国人支援 ①日本語学習支援 ②多言語サポーター ③外国人相談	○外国人支援については、全県を対象に外国人相談専門員等や県行政書士会等により専門的な内容についても対応している。 ○さらに、きめ細やかな対応のために市町村協会等での対応も必要と思われる。
(2) 情報関係 ①多言語ホームページによる情報提供 ②多言語の国際交流情報紙「jien go」の発行 ③機関誌「いわて国際交流」の発行	○様々な媒体を活用し、イベント情報や外国人の生活情報等、常時情報発信を行いイベント参加者の拡大等に成果を上げている。 ○今後はさらに、市町村協会等の活動の情報を拡大する必要があると思われる。
2 交流による地域づくり	
(1) 交流イベント関連 ①外国人との交流会「ちゃっとランド」の開催 ②「ワン・ワールド・フェスタinいわて」の開催	○国際交流イベントについては年々参加者が増加し、国際交流の裾野拡大につながっている。 ○さらに、地域住民を対象としたイベントが各市町村協会等で実施できるよう支援が必要と思われる。
(2) 国際交流関係団体（市町村国際交流協会等との連携） ①国際交流関係団体連絡会議の開催 ②地域国際リーダー研修の開催	○連絡会議や意見交換会の開催は、団体間の意見・情報交換の貴重な機会となっている。 ○市町村協会等が地域の国際交流の核となって様々な活動を展開するにあたり、一層細やかな支援が必要とされる。
3 次代を担う人づくり	
(1) 人材育成 ①海外体験・留学セミナー「いわて青年国際塾」の開催 ②いわてグローバルカレッジの開催	○「いわて青年国際塾」等は若い世代がグローバル化を学ぶ契機となり人材育成につながっている。 ○地域の人材育成に向けては市町村等との連携が必要と思われる。
4 震災被災地復興の支援	
(1) 震災被災地団体支援 ①外国人相談 ②震災被災地団体支援 ③日米学生会議「岩手プログラム」の開催 ④アイーナ復興バザーの開催	○被災地の団体の活動再開や団体立ち上げに向けて連携して事業等を実施している。 ○今後はさらに、基盤作りや体制強化に向けた支援が必要と思われる。

1 多文化共生の地域づくり

(1)外国人支援

事業内容:

①日本語学習支援

ア 日本語サポーターの登録・育成・活用

在住外国人に日本語を教えるサポーターの登録を行い、依頼のあった外国人に紹介した。

	H23	H24	H25
登録者数(累計)	158人	187人	215人
活用件数	33件	21件	30件

イ 日本語教室開設研修

日本語教室で教える日本語サポーターの養成と共に、日本語教室の開設を目的とし、市町村国際交流協会等と連携して研修会を開催した。

◆H26年度事業＝6～7月に滝沢市で実施済

	H23	H24	H25
開設場所	なし	陸前高田市	釜石市

ウ 日本語サポーター実践者研修会

日本語サポーター登録者を対象にして教える技術向上を図るために、教材の活用方法をワークショップ形式で実施すると共に、情報・意見交換も行った。

	H23	H24	H25
参加者数(開催回数)	71人(3回)	34人(2回)	24人(1回)

エ 中級日本語教室開設【新規】

読み書きを重視し総合的な能力向上を図るために、中級レベル以上の外国人を対象に開設した。

- ・開設回数 前期(12回)及び後期(12回)
- ・参加人数 延べ314人(各回平均 13人)

◆H26年度事業＝9月～ アイーナで実施中

②多言語サポーター

通訳や翻訳のサポートのほか多言語でのアドバイスのレベル向上を図るため、在留資格や教育などをテーマとして、アイーナ及び一関市で多言語サポーターの研修会を実施した。

◆H26年度事業＝8～9月 アイーナ及び一関市で開催

	H23	H24	H25
登録者数(累計)	179人	219人	215人
活用件数	12件	17件	30件

③外国人相談

外国人相談専門員(中国語、韓国語)、スタッフ職員等で随時外国人相談に対応した。また、外国人相談専門員が地域の日本語教室を巡回し在住の外国人相談を行うと共に、岩手県行政書士会と連携し、毎月第3水曜日を「相談日」とし専門性を要する相談にも対応した。

◆H26年度事業＝フィリピン人対応相談員の設置

	H23	H24	H25
相談件数	446件	562件	572件

アンケート結果等

「日本語学習」「語学(通訳・翻訳)」「外国人相談」の3つの面から在住外国人支援を実施し、地域においても、日本語教室、外国人相談を実施しており、参加者からは概ね好評を得ている。

今後についても、内容の充実と地域での拡大を図っていきたい。



日本語サポーター実践者研修会



分野別多言語サポーター通訳研修会

1 多文化共生の地域づくり

(2) 情報関係

事業内容:

① 多言語ホームページによる情報提供

日本語・英語・中国語・韓国語の4言語でツイッターやフェースブックと連動させながら、随時情報発信を行った。

なお、ツイッター及びフェースブックと連動したアクセス数はカウントできない。

	H23	H24	H25
アクセス数	56,882	43,881	42,544

◆H26年度事業＝随時更新。

② 多言語の国際交流情報紙「jien go」の発行

イベント情報や外国人への生活情報など、隔月で日本語版、英語・中国語版を発行した。

	H23	H24	H25
読者満足度	79.2%	80.8%	85.7%

◆H26年度事業＝隔月発行。

③ 機関紙「いわて国際交流」の発行

国際交流や多文化共生の啓発普及を図るため、在住外国人の異文化体験等を取り上げ、年2回発行した。

(H25年度機関紙の特集「あなたの国は本当にこんな国?」「日本の当り前は世界のびっくり?!」)

	H23	H24	H25
読者満足度	97.8%	95.5%	90.9%
アンケート回答数	45/46	42/44	30/33

◆H26年度事業＝秋号を11月に発行予定(特集「ねえ聞いて、こんなもの食べています」)。

アンケート結果等

情報紙は定期的な情報提供、またホームページについては不特定多数を対象に迅速な情報提供の手段として、双方の利点を生かして情報発信機能を担っている。ちゃっとランド参加者等のアンケートから、情報紙やホームページを含めた当協会からの情報提供によって、情報を得て参加している方々が60%以上を占めていることから、情報提供としての機能は果たしていると思われる。

機関誌については、特集のテーマや海外からの通信等への関心度が高かった。読者のニーズに合わせたテーマや県内在住外国人のインタビューがわかりやすかったことから、異文化をより身近に感じさせたと思われる。

また、情報紙については、情報部分だけでなく、料理のレシピや外国人紹介、日本文化の紹介、留学体験等読み物の部分についても、日本人外国人の双方から好評である。

2 交流による地域づくり

(1) 交流イベント関連

事業内容:

①外国人との交流会「ちゃっとランド」の開催

在住外国人等をゲストスピーカーに迎え、アイーナで11回、奥州市江刺区で1回開催した。

	H23	H24	H25
参加者数	453人	801人	753人
開催回数	12回	12回	12回

◆H26年度事業 5回開催済。

②「2013ワン・ワールド・フェスタ in いわて」の開催

外国人やボランティアとの協働でアイーナで開催した。また、市町村協会と連携し、釜石市、陸前高田市及び大船渡市、北上市の地域3か所でも開催した。

	H23	H24	H25
参加者数 (アイーナ会場)	1,875人	2,010人	2,527人

◆H26年度事業 11月16日(日)にアイーナで開催予定のほか、地域2カ所でも開催予定。

アンケート結果等

ちゃっとランドの参加者の半数以上が初参加者であること、また、フェスタはどの年代の方でも参加して楽しめるとともに、直接岩手在住の外国人と交流することができることから、両事業とも国際交流の裾野を拡大する事業として、その役割を担っている。

フェスタ開催にあたっては、ボランティアを募集し、企画、事前準備、当日の運営に協力していただいているが、アンケート回答の中に「年々ボランティアの資質向上が感じられる」との感想もあり、ボランティアの方々との協働がフェスタの実施に大きく寄与していると思われる。

また、両事業とも、アイーナ以外に各地域でも開催することにより、国際交流の啓発普及を進めている。



2013ワン・ワールド・フェスタinいわて



外国人との交流会「ちゃっとランド」
(奥州市江刺区)

2 交流による地域づくり

(2) 国際交流関係団体(市町村協会等)との連携

事業内容:

① 国際交流関係団体連絡会議

各団体間及び当協会との連携を図ることを目的に、意見・情報交換等をアイーナで開催したほか、地域(久慈市)でも意見交換会を開催した。

	H23	H24	H25
連絡会議	28団体(54人)	26団体(27人)	24団体(31人)
意見交換会	9団体(16人) 宮古市	10団体(14人) 宮古市	7団体(9人) 久慈市

◆H26年度事業=H27年1月開催予定

② 地域リーダー国際化研修の開催

国際交流関係団体(市町村協会含む)の職員等を対象に研修会(講演)を開催した(連絡会議と同日開催)。

講演「グローバル化する世界と岩手の魅力」講師:当協会理事長 平山 健一
(グローバルカレッジと併催 参加数60人 内31人)

	H23	H24	H25
参加者数	54人	26人	31人

◆H26年度事業=H27年1月に連絡会議と同時開催予定

アンケート結果等

各市町村協会、団体間で情報・意見交換を行う貴重な機会であり、アンケート結果からもこのような機会を継続的に持ってほしいという希望が寄せられている。また、地域で開催している意見交換会についても、同じ地域でも団体間同士で顔を合わせる機会がほとんどないことから、近隣地区でのネットワーク構築の重要な機会になっている。

今後、さらに市町村協会のニーズ等を把握し、より緊密な関係を築いていく。

3 次代を担う人づくり

(1)人材育成

事業内容:

①海外体験・留学セミナー「いわて青年国際塾」の開催

高校生や大学生等を対象に、英語でのワークショップ、日米学生会議「岩手プログラム」への参加、留学に関するセミナー等、7回シリーズで開催し、留学への啓発普及を図った。

	H23	H24	H25
参加者数	44人	119人	175人
開催回数	1回	8回	7回

◆H26年度事業 H27年2～3月開催予定。

②いわてグローバルカレッジの開催

ILC、グローバル人材、国際協力、震災復興などをテーマに6回シリーズのセミナーを開催した。

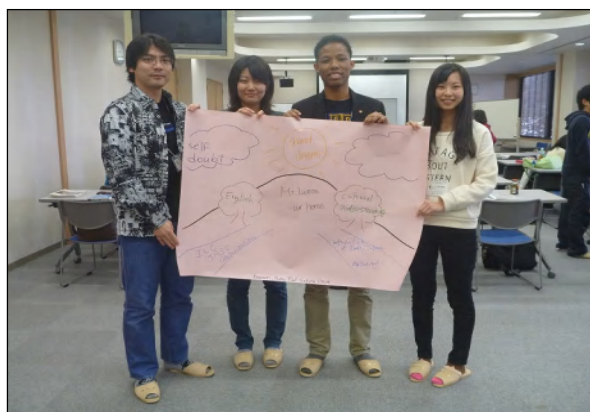
	H23	H24	H25
参加者数	265人	345人	245人
開催回数	8回	8回	6回

◆H26年度事業 12月から3回シリーズで開催予定。

アンケート結果等

「いわて青年国際塾」について、参加者のアンケート回答から、英語でのワークショップやILCの講演、日米学生会議のリーダーとの合宿研修など、学校では体験できないことを体験し、大きな学びや刺激を受けた等の感想が多かった。各分野で活躍している方々を講師に迎え、多様な視点からの講義を受けることができ、外国人との共生やグローバル社会について、関心を抱ききっかけになったと思われる。参加者の中には、国際塾での体験を大学受験時のレポートに取り上げた生徒もいた。

グローバルカレッジについては、多様な分野から講師を招き、参加者の満足度は高かった。若い世代の方々の参加を増やすために、次年度は「国際塾」と併催予定。



海外体験・留学セミナー「いわて青年国際



いわてグローバルカレッジ

4 震災被災地復興の支援

(1) 震災被災地団体支援

事業内容:

① 外国人相談

被災地の被災地外国人相談員と連携し、外国人の巡回相談等の支援を引き続き行った。(山田町、大槌町、大船渡市及び陸前高田市)

② 震災被災地団体支援

被災地での国際交流活動が再開できるよう、野田村、山田町、大槌町で各町村の要望を踏まえ連携して事業を実施するとともに、国際交流団体の支援を行った。

③ 日米学生会議「岩手プログラム」

日本とアメリカの学生交流プログラム「日米学生会議」の一環で実施された岩手プログラムの中で、ホームステイや被災地訪問の支援を行った。

④ アイーナ復興バザーの開催

アイーナ入居施設と連携し、アイーナ復興バザーを2回開催した。

◆H26年度事業 6月及び10月にアイーナ復興バザーを開催済。

アンケート結果等

被災地外国人相談員と連携し、外国人への巡回相談等を行った。

震災後、被災地の協会の活動が停止しているところがあることから、その状況に合わせた支援を行ってきた。今後、被災地の国際交流活動が再開できるよう、引き続き対応していく。